

1911年に倶知安で生まれ、14歳で油絵の具と出会い、19歳で東京美術学校西洋画科へ進学し本格的に画業を開始、以来70数年にわたり画家としての道を歩んだ小川原脩。戦前の激動の時代を東京で活動、戦後から2002年に91歳で生涯を終えるまでは郷里・倶知安で創作を続けました。

当館が所蔵する小川原作品はすべての年代を網羅し、美術学校時代の秀作、前衛的な戦前の作品、自らの境遇を託した動物たちの姿、そして自然と人間が交歓するアジアの大地を題材にしたものなど、その数はおよそ700点におよびます。画家が向き合った対象はそれぞれの時代で大きく移り変わりますが、その根底には、「包み込む空間」と小川原が語った幼少期の情景と重なる原風景が在り続けています。当館のコレクションを支える代表作の数々とともに、小川原脩の画業を見渡す展覧会です。



納屋 1933年



植物園 1937年



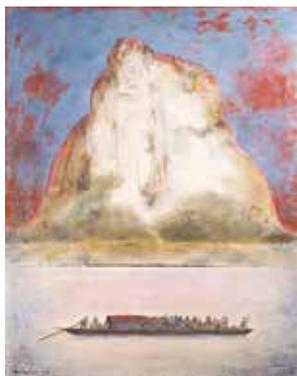
農民達 1942年



土のバレエ 1959年



雪 1972年



渡し舟一湾江 1979年



チベット讃歌 1982年



九官鳥の風景 1994年

●同時開催.....

小川原脩展

「Humans and Animals 小川原脩のまなざし」

4月19日(土)～7月6日(日)

ロビー展「北口さつき5 Elements」

6月1日(日)～6月30日(月)

しりべしミュージアムロード共同展「絵描きたちの昭和」

7月12日(土)～9月23日(火・祝)

●会期中のイベント.....

ミュージアムコンサート

「Five Elements Story II ～マリンバの音色にのせて～」

2025年6月21日(土) 14:00～15:00

出演/井原由加子さん(マリンバ) 入場無料・予約不要・当日先着70席

しりべしミュージアムロード・コンサート2025

「移ろう時代と音楽の旅」

2025年7月26日(土) 11:00～11:40

出演/prika neige ピリカ・ネージュ

高梨優希さん(トランペット)、永岡涼子さん(パーカッション)、

小野寺百音さん(ヴァイオリン)

入場無料・予約不要・当日先着70席



小川原脩
1911-2002

北海道・倶知安町生まれ。旧制中学(現・倶知安高校)で油彩を始める。東京美術学校(現・東京藝術大学)西洋画科に入学。在学中に「納屋」(1933年)が帝展に入選。卒業後、福沢一郎らと出会い「エコール・ド・東京」「創紀美術協会」「美術文化協会」などの結成に参加。シュルレアリスム絵画への道を歩んだが、軍の規制が厳しくなり断念。その後、軍の命令により戦争記録画を制作。

戦後は郷里・倶知安に戻り、岩船修三、木田金次郎らと「全道美術協会(全道展)」の創立に参加。1958年、野本醇、因藤壽、穂井田日出磨らと「麓彩会」を創立。1975年、北海道文化賞受賞。1994年、北海道開発功労賞受賞。この年、小川原脩画集(共同文化社)を出版。戦後、倶知安町に定住してから半世紀以上、新たな造形の可能性を求め続けたが、とりわけ70歳を目前にして訪れた中国、チベット、インドでの体験を契機として創作の新境地を拓いている。



Shu Ogawara
小川原脩記念美術館
Shu Ogawara Museum of Art

〒044-0006 北海道虻田郡倶知安町北6条東7丁目1(0136-21-4141)
<http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/culture-sports/ogawara-museum/>